


就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	リファイン
住所	大阪市中央区平野町2丁目3-11
電話番号	06-6732-8787

事業所番号	2719403582
管理者名	竹内祥悟
対象年度	2025年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 実施日程:令和8年2月24日(火) 10:00-11:00 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要: 生成AI活用に関するオンライン研修を在宅形式で実施した。 内容は、生成AIの解説から始まり、主にChatGPTを活用した文章作成支援、 情報整理および構造化の方法、タスク整理・優先順位付け、 情報セキュリティの留意点等を事例を交えて研修を実施。 参加利用者:4名	<活動の様子>  今日のプログラム (1時間) 本日の研修では、生成AIの基礎から実践まで、6つのセッションを通じて体系的に学ぶ、充実した1時間のプログラムです。この研修で、AIが社会やビジネスに与える影響を深く理解し、日常生活や業務でAIを効果的に活用するための実践的なスキルを習得できます。特に、AIを活用したビジネス実務の効率化、具体的な文章作成、タスク整理、優先順位付けに重点を置き、理解力とスキルを磨きます。得られた時間で最大限の学びを得られるよう、凝縮された内容となっています。 暮らしでの使いどころ AIってそもそも何？ 生成AIの基本的な仕組み、種類、そしてその特徴を分かりやすく解説します。AIの歴史と最新の動向を概観し、なぜ生成AIが注目されているのか、その実用性を理解を深めます。 このセッションはAIの入門編として、日常生活で役立つ具体的な活用方法を紹介します。身近な問題解決やクリエイティブな活動にAIをどう活かせるかを探ります。実際にAIに触れていただくための導入です。 仕事での使いどころ 本研修のメインセッションです。業務効率化に活用する実践的なAI活用術を深く掘り下げて学びます。具体的には、メールや報告書、企画書などの業務作成をAIで効率化する手法、ToDoリストの自動生成やタスク管理によるスケジュール管理、そして会議資料の要約やメール返信の自動化による業務負担軽減のスキルを習得します。このセッションは、参加者の経験が最も多くの時間を費やし、実際に現場に役立つ実践的な価値を得られるよう設計されています。 実践演習タイム 「仕事での使いどころ」セッションで学んだビジネススキルを実践に試すハイブリッド演習を通じて、生成AIの活用を体験し、その可能性を体感します。具体的なプロンプト作成のコツや、効果的な出力の引き出し方を実践的に学び、理解を深めます。 安心して使うためのコツ 生成AIを安全かつ効果的に活用するための重要なポイントを解説します。著作権やプライバシー、個人情報の取り扱いといった注意点と、それらに対応するための具体的な対策について解説します。 まとめ 今日の学びを振り返り、生成AIの活用に向けた具体的な第一歩を整理します。質疑応答の時間を設け、受講者の疑問点を解消し、今後の学習や実践に向けたサポートを行います。 この研修は、生成AIの初心者から、特にビジネスにおける生産性向上とAI導入を検討されている方まで、幅広い層の方からご参加いただけるよう設計されています。理解と実践のバランスが保たれたプログラムで、AIを「知る」から「使いこなす」へステップアップが可能です。 〇 わずか時間でも生成AIの基礎から実践までを習得できる。凝縮されたプログラムです。本研修は、忙しいビジネスパーソンでも手軽にAIの最新動向と活用術を学べるよう、実践的かつ効率的に構成されています。AI時代の必須スキルを短時間で身につけよう。
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい: 在宅就労および一般就労に必要なIT活用能力、 文章作成能力、情報整理能力の向上を図ることを 目的とした。 利用者にとってのメリット: ・業務メール作成能力や文章構成力の向上 ・作業効率化の理解 ・ITツール活用に対する自信の向上	
<成果> 実施した結果 利用者は具体的な指示入力的重要性を理解するとともに、AIの実務への活用方法や個人情報の取り扱いについて学んだ。 得られた成果 ・業務文章作成やタスク処理に対する心理的負担の軽減 ・在宅環境でのオンライン受講能力の向上 ・DX活用について、身近なものと感じられた。 課題点 ・実業務での継続的な活用機会の確保 ・AI回答内容の検証習慣の定着	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】 参加利用者は終始落ち着いて受講しており、講義中の問いかけや演習にも適切に反応していた。DXや生成AIに不慣れな利用者においても、具体的な活用事例を通じて理解が進み、業務負担軽減につながる可能性について一定の理解が得られたと評価している。特に、文章作成や情報整理における活用イメージを持つことができた点は、今後の就労場面での応用に資する基礎形成として有意義であった。 【今後の連携強化に向けた課題】 今回は基礎的な内容を中心とした導入研修であったため、今後は実業務への応用機会を設け、定着状況を確認する仕組みづくりが課題である。また、AI活用が実際の作業効率向上や文章作成能力向上にどの程度寄与するかについて、継続的な評価が必要である。今後は、段階的な実践研修の実施や、成果測定方法の整理を外部機関と連携し検討し、利用者の就労力向上に資する支援体制の構築を目指したい。	
連携先企業(担当者)	株式会社メディケアリンク 内藤

利用者からの意見・評価

「生成AIを具体的にどのように活用できるか理解できた」との声があった。
特に、文章作成や情報整理において活用可能であることを知り、業務負担軽減につながるイメージを持つことができたとの意見が聞かれた。
今後、実際の業務場面で活用し、自身の作業効率向上に役立てたいとの前向きな意欲が示された。